



3年学年だより

発行日:令和6年1月31日(水)

発行者:横浜市立南高等学校附属中学校

学校長:遠藤 広樹 NO. 9

校長代理

中澤 務

新しい年を迎えひと月が経とうとしています。元日に起きた地震では能登半島を中心に大変大きな被害がありました。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。中学生が集団避難する様子も報道されていました。自分の学校に行くことができず、家族とも離れて生活しなければならないことを思うと本当に心が痛みます。報道の中で、「授業や友達に会えるのが楽しみ」と話していた中学生がいました。思いの全てを知ることはできませんが、その前向きな姿が強く印象に残りました。

横浜市は消防局が消防隊・救助隊・救急隊を編成して、1月8日から緊急消防援助の活動をしています。他にも水道局による応急給水や水道施設復旧の支援、資源循環局による避難所ごみ、生活ごみの収集活動や災害用トイレレーラーの派遣、健康福祉局・医療局・こども青少年局・区役所の職員による保健師チームの活動…など、現地での支援を行っていることがホームページで公表されています。いつどこで起きるかわからない災害に十分に備えるとともに、災害が起きた場合に支え合う仕組みづくりについても、附属中の皆さんとともに、自分事として考えていきたいと思っています。

南高卒業生による講演会～国際協力の現場から～

12月21日、22日と二日間にわたり、南高校63期卒業生である小野寺航大さんに、ご自身の経験をもとに、講演をしていただきました。小野寺さんは中東のレバノンで国際協力のお仕事をしていましたが、情勢の悪化で、日本政府からの通告により帰国しています。附属中生徒の皆さんに戦争や紛争の実態について、わかりやすく伝えていただきました。



ご講演の前に、小野寺さんに伺いました。

Q「なぜ、国際協力の現場に身を置こうと思ったのですか。」

A「小さい頃、ニュースで、紛争の中で苦しむ子どもの様子を見て、自分が何かしたいと思いました。高3のとき、アフリカのケニアに行き、孤児院の子どもと遊んだりしました。大学ではインターンシップやボランティアなどを行っていました。将来は国連の職員になって、世界の平和のために貢献したいと考えています。」

戦争や紛争で最も影響を受けるのはどんな人たちだろう…。小野寺さんのお話を伺いながら、生徒の皆さんは真剣に考えていました。小野寺さんは、「戦争とは人々の悲劇の集合である」との言葉で講演を締めくくっていました。質疑応答の場面ではたくさん手が挙がりました。時間によって講演会は終了しましたが、教室に戻ってからも多くの質問が出続けました。その一つひとつに後日、小野寺さんからお答えをいただきました。

今回の講演会を通して、附属中の生徒の皆さんが、今起きている戦争や紛争について、また国際協力について、大きな関心を寄せていたことを嬉しく思います。皆さんが将来、どんな場所でどんな職業に就くとしても、地球規模の課題をしっかり視野に入れて活躍してくれることを期待してやみません。

校内書き初め大会

新学期が始まってから、国語科の冬休みの課題である書き初めが各クラスで掲示されました。3年生は、力強く、それでいて流れを感じさせる作品が多かったです。春からは高校生。新年の決意を言葉にする素晴らしさを感じました。

学校代表として、4組の [] さんの作品が、横浜市学校総合文化祭「中学校書写展」に出品され、1月17日(水)から21日(日)まで横浜市民ギャラリーに展示されました。



金賞受賞者

- 1組… [] さん、 [] さん、 [] さん、 [] さん、 [] さん
- 2組… [] さん、 [] さん、 [] さん、 [] さん、 [] さん
- 3組… [] さん、 [] さん、 [] さん、 [] さん、 [] さん
- 4組… [] さん、 [] さん、 [] さん、 [] さん、 [] さん、 [] さん

生徒会 全校企画

中学生徒会による全校企画が1月18日(木)に開催されました。今年の競技は「ひっくり返し競争」。2チームに分かれ、それぞれのチームが制限時間内に、コート(試合会場)のなかの板を自分のチームの色にひっくり返していくゲームです。ひっくり返すときには、板に書かれた数字の人数が集まる必要があり、ひっくり返すときに、「こっち!こっち!」「あと3人!」などの声掛けやチームの協力が大切になります。今年の生徒会目標「コミユル」に合わせた企画です。



全校企画の運営には、生徒会本部を中心に、3年生の学級委員や各委員会の委員長も参加し、アイデアを出しました。当日の運営には、チームリーダーとしてさらに3年生が活躍しました。1、2年生もゲームに参加できる明るい雰囲気になったのは、3年生の積極的に参加する姿勢、自分たちもみんな楽しんでやる気持ちがあったからこそです。とても立派でした。

10月企画委員会の様子



1月リーダー会議の様子



1月アイスブレイク企画



姫のひとりごと

生徒会が粘り強く取り組んだ「全校レク」が実現しました。3年生は、視野が広がり、周囲を気遣って行動しているのが見て取れました。一人ひとりの内面的な成長は、書き初めにも表れていました。卒業までのカウントダウンが始まっていますが、皆さんの字のように、強くてしなやかで、芯がしっかりした人になってほしいと思います。